

ベトナムの加工食品と1月の注目ニュース

とちぎベトナムサポートハブ

(運営：ONE-VALUE 株式会社)

2024年1月

I. はじめに

ベトナム・ハノイ市に開設された、とちぎベトナムサポートハブ（愛称：とちぎハブ）より、毎月ベトナム現地の最新情報をお届けいたします。今回は、昨年12月号に続いてベトナムの代表的な食品加工セクターについて紹介します。また、今月（1月）の注目ニュースをお伝えいたします。

II. ベトナムのスパイス、ゼラチン、ディップソース(つけダレ)

ベトナムの加工食品市場は急速に成長しており、この業界は大きな発展の可能性を秘めています。加工・製造業全体の収入の20%以上を占めており、忙しい現代社会の到来による利便性のニーズの高まり、ライフスタイルの多様化に伴う食生活の多様化に加え、国民の所得向上が加工食品の市場拡大を後押ししています。以下、今後の成長が期待される3つの代表的な加工食品セクターを紹介します。

スパイス

ベトナムは、胡椒、シナモン、スターアニス（八角）という3つの主要製品を持つ、世界有数のスパイス供給国です。2024年のデータによると、ベトナムはスパイス全般の輸出で世界第3位、胡椒の生産量と輸出額で世界第1位、シナモンの輸出額でも世界第1位を誇ります。また、スターアニスについても輸出で世界第3位に位置しています。これらのスパイスは現在、125カ国以上に輸出されています。ベトナム胡椒・スパイス協会（VPA）の報告によれば、2024年上半期には胡椒の輸出量が142,586トンに達し、前年同期比で30.5%増加しました。このうち黒胡椒が88%を占めており、白胡椒が残りの12%を占めています。特にアメリカやドイツ、インド、UAEなどの国々からの需要が急増しており、これらの国々では前年同期比で45~100%の増加が見られました。シナモンについても好調な成長を見せており、2024年には輸出量が3,986トンに達し、前年同期比で9%増加しました。スターアニスも引き続き需要が高く、多くの国に供給されています。これらの成長は、高品質なベトナム産スパイスへの信頼と需要の高まりによるものです。



ベトナムは世界有数のスパイス輸出国である

出所: [vanchuyenvietthai](https://www.vanchuyenvietthai.com/)

ゼラチン

ゼラチンは、コラーゲンから作られる動物性タンパク質の凝固剤で、主に食品加工産業や医薬品・化粧品業界で使用されています。食品業界では、ゼラチンはプリン、アイスクリーム、ゼリーなどに使われており、その品質を向上させ、製品の食感を良くするために不可欠な成分です。また、医薬品や機能性食品にも利用され、サプリメントや薬剤の形状を安定させる役割も果たします。これらのゼラチンを使用した製品は、特にベトナム市場で非常に人気があり、消費者の需要が高まっています。

Mordor Intelligence のレポートによると、2023 年のベトナムのコラーゲン市場は 132 百万米ドルに達し、2023 年から 2028 年までの間に年平均成長率（CAGR）が 6.2%に達することが予測されています。ゼラチン製品の需要も同様に急成長しており、特に F&B（食品・飲料）産業での需要が増加しています。ゼリー、ヨーグルト、プリンなど、ゼラチンを必要とする菓子製品が急速に成長しているため、それに伴い、ゼラチンの生産量も増加しています。これにより、ゼラチン業界の成長が加速しています。



ゼラチンはベトナムでも様々な料理に使われている

出所: [Phunukieviet](https://www.phunukieviet.com/)

ディップソース(つけダレ)

ベトナムの料理文化において、魚醤（ヌクマム）、醤油、トマトソース、チリソースなどのディップソースは欠かせない調味料です。従来、魚醤は主に味付けに使用されていましたが、最近では料理の多様化に伴い、さまざまなディップソースが利用されるようになりました。この変化は、ディップソース製造業の発展にも寄与しています。ユーロモニターによると、2023年のベトナムの調味料産業の市場規模は約 33,500 億 VND で、その 64%がディップソースによるものです。特に魚醤は 15,000 億 VND で最大の割合を占めており、国際市場でも注目されています。ベトナムでは「ヌクチャム」や「サテム」など、多様なディップソースが存在し、それぞれ独自の風味を持っています。健康志向や新しい味への探求心が高まる中、新商品の開発も進んでいます。今後もベトナムのディップソース市場は成長し続けると予想され、国際的な需要が高まる中で新たな展開が期待されます。



魚醤はベトナム料理には欠かせない調味料である

出所: [vivutravel](https://www.vivutravel.com/)

Ⅲ. 【1月注目ニュース】

➤ 2025年ベトナムの経済動向

ベトナム統計総合局は、2025年のベトナム経済に関する見解を発表し、経済成長率の目標を8%と設定しました。OECDやIMF、EUは2025年世界のGDP成長率を3.2%~3.3%と見込んでおり、この成長率に比べ、ベトナムの経済成長率は高いことが伺われます。ベトナム経済は、農林水産業が輸出や加工技術の発展により成長している他、工業部門も7%~9%の成長率が期待されています。サービスセクターも観光や貿易の回復によって好調です。政府はマクロ経済の安定を図りつつ、企業との対話を通じて生産活動の問題解決に努めています。また、ドナルド・トランプ氏のアメリカ大統領再就任により、米中貿易戦争が激しさを増す中、中国に製造拠点を持つ外資系企業がベトナムに移転してくることも予想され、トランプ大統領の再就任は全体的にベトナム経済にとってプラスに働くとの見方が強いです。また、公的投資は791兆ドン（日本円で約5兆円、ベトナムのGDP比6.4%）という記録的な額が計画されており、重要なインフラプロジェクトに優先的に配分されます。

一方で、ベトナム経済には多くの課題もあります。安価な労働力は賃金の上昇により競争優位性を失い、高度な技術を持つ労働者が不足しています。国内企業の資金調達力は十分でなく、資本市場は潜在能力を十分に発揮できていません。これらの状況を踏まえ、ベトナム統計総合局は迅速かつ適切な対応策を講じる必要性を指摘しています。公的投資への効率的な運用や大規模プロジェクトへの優遇政策も求められます。また、消費促進や国内市場の発展を強化し、新たなビジネスモデルへの転換も重要です。企業には AI 導入や持続可能性への取り組みも期待されています。